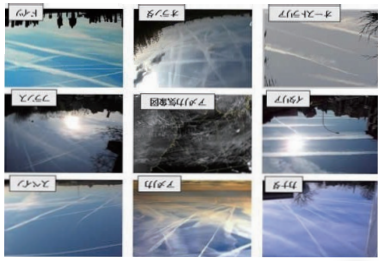
いったいどこで？ケムトレルがまかれているの？



世界中です。

遠目からだと
ただの雲に見えるけど…

近寄ってみたらビックリ！

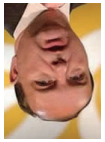
もちろん日本でも。

全国各地で報告されています。

みんな知らないうちに
へんな空気を吸っているかもしれない…。

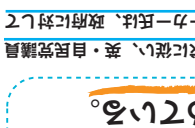
でも、それホント？信じられないよ!!

ノギリスでは、過去に空から細菌をばらまいていたことを、国が認めている。



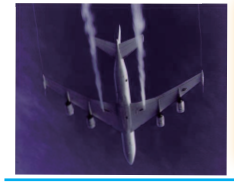
英・自民党議員
ノーマン・ベーカー氏

市民からの要求に従い、英・自民党議員ノーマン・ベーカー氏は、政府に対してケムトレルについて再三の回答を求めました。ついに、2002年 国防省は、1940年～1979年 の40年間にわたり、飛行機などによる国民を標的にした細菌散布実験をしてきたことを認める声明文を出しました。旧ソ連によるバイオテロを想定した実験でした。



この実験の中心的役割を担ってきたのが、ポートダウン研究所です。同研究所は、新聞社の取材に対し、現在の実験状況については、公表するつもりはないとしています。政府による化学物質の散布

日本はどうなの!?



米国議会は、長年にわたって国民を対象にした生物兵器実験を極秘で行っていたことを 1977年と 1994年に公表しています。

ロサンゼルスのテレビ局・NBC4は、「毒の空？」と題して国民の健康を害するケムトレルの存在を伝えました。（2007年）

また、ルイジアナ州のテレビ局・KSLAは、「1949年～1969年まで、米軍が国民を対象に生物兵器実験を極秘に行っていた」ことを報道しました。（2007年）

アメリカでも、過去に空から細菌をばらまいていたことを、国が認めている。

市民による反対運動がさかんな欧米に比べると……。

市民グループが
アーユアデに出展
「空をあおこう。」
「健全な空気を吸う権利を」

ケムトレル反対ポスター
「空をあおこう。」
「ケムトレルをとめさせよう」

日本では、ケムトレルの存在を知っている人がまだ少ない。

日本政府は、ケムトレルの存在を認めていません。

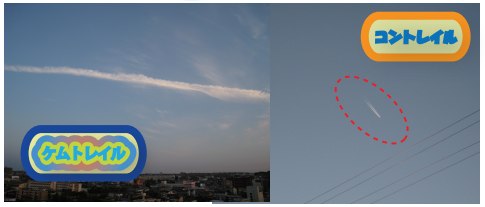
けれど、対米追従政策を続けてきた日本が本当に散布していないでしょうか。空をあおぐ。残念なことに、欧米の空と同じように、ケムトレルを確認することは簡単です。どんな理由であれ、意図的な大気汚染は許されていることではないでしょう。

考えよう。ぼくらの地球環境。

ケムトレル ホントにこわい成分

目的は、「地球温暖化対策」太陽光をさえぎるためと言われています。

ひこうきぐも 2種類あって知ってた？？



コントレイル

短い尾をひいてすぐに消えます。空は青いまま！

ケムトレル

なかなか消えず、広がります。空が真っ白に！

おもに…水蒸気

この雲のなかには、何が入っている？

※コントレイルのように短い尾をひいた雲でもケムトレルである場合があるようです。また、日本ではコントレイルは、ほとんど見られないという意見もあります。

ぼくらの知らない 環境問題

ケムトレル

これってひこうきぐもじゃないの!?

THINKER
QUESTION AUTHORITY

THINKER mini book シリーズ

1. ぼくらの知らない環境問題「ケムトレル」
2. ぼくらの知らない薬害「子宮頸がんワクチン」
3. ぼくらの知らない社会「お金のしくみ」
4. ぼくらの知らない世界「戦争のしくみ」
5. ぼくらの知らない現実「人口を減らすってホント？」

大きな問題をまえに個人ができることは、ひとりでも多くの人に知ってもらうことです。「伝える」活動にご協力ください。そのツールとして、この mini book をご利用ください。

すべての考える人々へ

http://www.thinker-japan.com